

2025 年度

福山大学大学院

人間科学研究科 心理臨床学専攻

(修士課程)

《学生募集要項》

一 般 選 拔

社会人特別選抜

外国人留学生特別選抜



FUKUYAMA  
UNIVERSITY

福 山 大 学

福山大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻は、現代社会における心の健康に関する理解を深め、高度な専門知識と論理的思考力を伴う研究実践力及び様々な臨床の場に対応できる対人援助実践力を修得した人材を養成する。特に、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理支援に関する専門家として援助と提案ができる人の育成を目指す。

#### 【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）】

福山大学大学院人間科学研究科では、心理臨床現場や地域において心理的支援ができる人の育成を目指している。このような理念・目標のもとに、次のような条件を満たす人を求めている。

1. 基礎的な心理学の知識を有する人、又は心理学の関連分野の実践経験を有する人。
2. 心理学の研究方法を用いて自ら研究を推進できる人。
3. 対人援助に強い関心があり、研究や実践の成果を心理臨床現場や地域社会に還元したいという意欲がある人。
4. 心理臨床現場や地域社会における対人援助の素養を有する人。

#### 【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）】

研究科のディプロマ・ポリシーである、様々な臨床の場における心理支援に関する専門家として活動する人材の育成を目指して、幅広い心理臨床分野の知識とスキル、さらには個人や社会の諸問題に関する解決能力の修得が可能となるよう、次のような3つのワークのもとでカリキュラムを編成し、実施する。各ワークに併せて、能動的学修を主体的に行い、到達度に合わせてその学修成果を評価する。

##### コースワーク

1. 個人や社会の諸問題の解決や予防、そして心の健康増進を含む心理臨床学とその近接領域の高度な知識を修得する。
2. 保健医療、福祉、教育その他の分野に関する科目をバランスよく履修する。

##### リサーチワーク

1. 心理臨床の研究と実践をつなげ、個人や社会に還元するために必要な知識と研究スキルを修得する。
2. 研究法と心理臨床学特別演習を履修し、実践的な研究力を修得する。

##### キャリアワーク

1. 様々な臨床の場に対応できる心理支援に関する専門家として必要な知識、技能、態度を修得する。
2. 心理臨床に関する実習科目や演習科目の履修により、心理支援に必要なアセスメントスキルと援助スキルを修得する。

#### 【ディプロマ・ポリシー（修了要件・学位授与の方針）】

様々な臨床の場における心理支援に関する専門家として社会に還元できる資質を備えていること。具体的には、以下の力を獲得していること。このような要件を満たし、所定の単位を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出し、研究科の行う審査及び最終試験に合格した者に修了を認定し、修士（心理臨床学）の学位を授与する。

1. 幅広い心理臨床分野の知識を獲得し、個人や社会に関する諸問題の理解に活用できる。
2. 心理臨床分野における研究を推進し、個人や社会に関する諸問題を解決することができる。
3. アセスメント力と援助力を活用し、援助実践を個人や社会に還元できる。

## 1. 募集人員

入試区分	課程	専攻	選抜の区分	募集人員
第一次	修士	心理臨床学専攻	一般選抜	10名
			社会人特別選抜	
			外国人留学生特別選抜	
第二次	修士	心理臨床学専攻	一般選抜	若干名
			社会人特別選抜	
			外国人留学生特別選抜	

(※) 志願者は、出願前に志願する担当教員の研究分野及び指導内容等の確認後、担当教員の承諾を得てください（担当教員と指導内容の一覧表：本募集要項（10-12 ページ）参照）。

(※) 公認心理師の資格取得希望者は、出願前に入試係にお問い合わせください。

## 2. 出願資格

一般選抜
------

次の各号のいずれかに該当する方。

- (1) 学校教育法第 102 条に定める大学を卒業した方。または 2025 年 3 月 31 日までに大学を卒業する見込みの方。
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された方。または 2025 年 3 月 31 日までに授与される見込みの方。
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した方。または 2025 年 3 月 31 日までに修了される見込みの方。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した方。または 2025 年 3 月 31 日までに修了される見込みの方。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設で、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方。
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その他教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けた方。またはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された方。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方。
- (8) 文部科学大臣が指定した学校等の課程を修了した方。
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した方であって、その後に入学者となる本学大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた方。
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で、22 歳に達した方。
- (11) 大学に 3 年以上在学（これに準ずる方として文部科学大臣が定める方を含む。）し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた方。

(※) 出願資格の(8)～(11)により出願される方は、出願前に個別出願資格審査が必要となります。その審査結果により、出願することができます。詳細は、「福山大学大学院人間科学研究科個別出願資格審査について」をご参照ください。

### 【 出願資格の審査及び認定 】

ア) 出願資格の(8)～(11)により出願される方は、予め本研究科に問い合わせのうえ、以下の①～⑥の書類を下記期日までに提出してください。

<申請締切日>

第一次入試：2024年7月3日(水)、第二次入試：2024年11月13日(水)

- ① 入学試験出願資格事前審査申請書(本学所定の様式を使用してください。)
- ② 入学試験出願資格事前審査調書(本学所定の様式を使用してください。)
- ③ 本学大学院に入学を希望した動機及び入学後の研究計画(本学所定の様式を使用してください。)
- ④ 最終学校の卒業証明書(外国語で作成している場合は、日本語訳を添付してください。)
- ⑤ 最終学校の学業成績証明書(外国語で作成している場合は、日本語訳を添付してください。)
- ⑥ 本人の宛先記入の封筒(長形3号封筒に94円切手を貼付してください。)

イ) 事前審査の結果は、下記期日までに本人宛に通知します。

第一次入試：2024年7月29日(月)、第二次入試：2025年12月9日(月)

社会人特別選抜
---------

次の各号のいずれかに該当する方。

- (1) 前掲の一般選抜の出願資格の各号いずれかを取得したのち、入学時点までに2年以上経過している方。
- (2) 前掲の一般選抜の出願資格の各号いずれかを取得した時点で、2年以上の社会経験を有している方。
- (3) その他、個別の入学資格審査により、本学大学院が出願を認めた方。

なお、社会人特別選抜による入学者には、履修のパターンとして、以下の3つの履修パターンがあります。

- ① 通常の在学期間2年間で修了要件を満たす標準パターン
- ② 大学院設置基準第14条による教育方法のもとに在学期間2年間で修了要件を満たす14条特例パターン  
(夜間その他特定の時間または時期において授業または研究指導を行う等の適当な方法により、2年目からは職場復帰して研究することも可能です。)
- ③ 在学期間3ないし4年間で修了要件を満たす4年パターン

(※) 出願を希望される方は、出願時までに本研究科へ申し出を行い、研究科担当者と事前相談の上で履修パターンを決定し、どの履修パターンを選択するかを願書の所定の欄に記載してください。なお、公認心理師の実習科目は、入学後の最初の2年間で取得してください。

## 外国人留学生特別選抜

外国人留学生（日本国籍を有さず、かつ日本国の永住許可を得ていない方で、大学院入学後に「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる見込みの方）で、日本語能力試験1級またはN1レベルを持ち、一般選抜の出願資格の(3)、(4)、(6)、(8)、(10)、(11)のいずれかに該当する方。

### 3. 出願期間

<第一次> 2024年7月31日(水)～2024年8月16日(金) (期間内必着)

<第二次> 2024年12月11日(水)～2025年1月7日(火) (期間内必着)

※ 国外協定校で入試を行う場合は、別途定める。

### 4. 出願手続

検定料を振り込みのうえ、出願書類は下記の出願書類提出先に持参するか、または、簡易書留郵便で出願期間内に必着するように郵送してください。本学所定の書類は、本学ホームページ上の以下のページからダウンロード可能です。

<https://www.fukuyama-u.ac.jp/entrance/entrance-examination-grad/grad-human-culture/>

出願書類を持参する場合の受付時間帯は、(月～金) 9:30～16:00です。ただし、下記の期間は受付を行いませんので、ご了承ください。

- ・土曜日・日曜日・祝日
- ・第一次：2024年8月13日(火)～2024年8月15日(木)
- ・第二次：2024年12月30日(月)～2025年1月3日(金)

#### (1) 出願書類

##### 一般選抜

- ① 入学願書（一般選抜用）（本学所定のもの。）
- ② 受験票（本学所定のもの。）
- ③ 卒業（見込）証明書（出身大学において作成したもの。）
- ④ 成績証明書（出身大学長または学部長が作成し、厳封したもの。）
- ⑤ 教育・研究業績等調書（一般選抜用）（本学所定のもの。）
- ⑥ 研究計画書（一般選抜用）（本学所定のもの。）
- ⑦ 日本心理学諸学会連合認定心理学検定1級または特1級の合格証の写し（該当する方のみ）
- ⑧ 返信用封筒（長形3号封筒に住所・氏名・郵便番号を明記し、速達料加算の郵便切手を貼り付けてください。）
- ⑨ 写真2枚（縦4cm×横3cm）（最近1ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽の写真を入願書及び受験票に貼り付けてください。）
- ⑩ 検定料 30,000円（本学所定の振込依頼書で銀行振込とし、振込取組済証明書を所定の貼り付け欄に貼り付けて提出してください。）
- ⑪ 宛名票（本学所定のもの。）

## 社会人特別選抜

- ① 入学願書（社会人特別選抜用）（本学所定のもの。）
- ② 受験票（本学所定のもの。）
- ③ 卒業証明書（出身大学において作成したもの。）
- ④ 成績証明書（出身大学長または学部長が作成し、厳封したもの。）
- ⑤ 教育・研究業績等調書（社会人特別選抜用）（本学所定のもの。）
- ⑥ 研究計画書（社会人特別選抜用）（本学所定のもの。）
- ⑦ 同意書（現に所属のある方で、本学大学院に現職のまま入学しようとする方は、所属長の同意書（様式任意）を提出してください。）
- ⑧ 返信用封筒（長形3号封筒に住所・氏名・郵便番号を明記し、速達料加算の郵便切手を貼り付けてください。）
- ⑨ 写真2枚（縦4cm×横3cm）（最近1ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽の写真を入力願書及び受験票に貼り付けてください。）
- ⑩ 検定料 30,000 円（本学所定の振込依頼書で銀行振込とし、振込取組済証明書を所定の貼り付け欄に貼り付けて提出してください。）
- ⑪ 宛名票（本学所定のもの。）

## 外国人留学生特別選抜

(※) 提出書類のうち外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。

- ① 入学願書（外国人留学生特別選抜用）（本学所定のもの。）
- ② 受験票（本学所定のもの。）
- ③ 卒業証明書（出身大学において作成したもの。）
- ④ 成績証明書（出身大学長または学部長が作成し、厳封したもの。）
- ⑤ 教育・研究業績等調書（外国人留学生特別選抜用）（本学所定のもの。）
- ⑥ 研究計画書（外国人留学生特別選抜用）（本学所定のもの。）
- ⑦ 日本語能力試験1級またはレベルN1の証明書
- ⑧ 返信用封筒（長形3号封筒に住所・氏名・郵便番号を明記し、速達料加算の郵便切手を貼り付けてください。）
- ⑨ 写真2枚（縦4cm×横3cm）（最近1ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽の写真を入力願書及び受験票に貼り付けてください。）
- ⑩ 外国人登録原票記載事項証明書（写）または登録証明書（写）1通（外国人登録証明書番号を明記してください。）  
※ 日本国外に居住する方は不要です。
- ⑪ 検定料 30,000 円（本学所定の振込依頼書で銀行振込とし、振込取組済証明書を所定の貼り付け欄に貼り付けて提出してください。）  
※ ただし、協定大学から受験する場合は、検定料を免除します。
- ⑫ 宛名票（本学所定のもの。）

## (2) 出願書類提出先

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵  
福山大学大学院人間科学研究科 入試係（経済学部・人間文化学部事務室）  
Tel: 084-936-2112（内線2222、または2223）

(※) 出願書類の不備なものは受理しませんので、記載事項に記入漏れ、誤記がないよう十分

注意してください。また出願後、入学願書の記載事項に変更があった場合は、速やかに連絡してください。一度提出した出願書類及び検定料は、理由の如何を問わず返却しません。

## 5. 試験の期日、時間及び場所

<p>試験期日</p>	<p>&lt;第一次&gt; 2024年9月2日(月)</p> <p>&lt;第二次&gt; 2025年1月25日(土)</p> <p>※外国人留学生特別選抜は、国外協定校で実施する場合があります。 詳しいことにつきましては、入試係にお問い合わせください。</p>																		
<p>時間</p>	<table border="0"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><b>一 般 選 抜</b></td> </tr> <tr> <td>筆記試験(英語及び専門科目)</td> <td>9:00 ~ 12:00</td> </tr> <tr> <td>面接試験</td> <td>13:00 ~</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><b>社 会 人 特 別 選 抜</b></td> </tr> <tr> <td>筆記試験(小論文)</td> <td>10:20 ~ 12:00</td> </tr> <tr> <td>面接試験</td> <td>13:00 ~</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><b>外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜</b></td> </tr> <tr> <td>筆記試験(英語及び専門科目)</td> <td>9:00 ~ 12:00</td> </tr> <tr> <td>面接試験</td> <td>13:00 ~</td> </tr> </table>	<b>一 般 選 抜</b>		筆記試験(英語及び専門科目)	9:00 ~ 12:00	面接試験	13:00 ~	<b>社 会 人 特 別 選 抜</b>		筆記試験(小論文)	10:20 ~ 12:00	面接試験	13:00 ~	<b>外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜</b>		筆記試験(英語及び専門科目)	9:00 ~ 12:00	面接試験	13:00 ~
<b>一 般 選 抜</b>																			
筆記試験(英語及び専門科目)	9:00 ~ 12:00																		
面接試験	13:00 ~																		
<b>社 会 人 特 別 選 抜</b>																			
筆記試験(小論文)	10:20 ~ 12:00																		
面接試験	13:00 ~																		
<b>外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜</b>																			
筆記試験(英語及び専門科目)	9:00 ~ 12:00																		
面接試験	13:00 ~																		
<p>場 所</p>	<p>福山大学 29号館(広島県福山市学園町1番地三蔵)</p>																		

## 6. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験及び面接試験の結果と提出書類を総合して行います。

	9 : 00 ~ 10 : 00	10 : 20 ~ 12 : 00	13 : 00 ~
	筆記試験（外国語）	筆記試験（専門科目または小論文）	
一般選抜 及び 外国人留 学生特別 選抜	英 語  ※ 辞書持ち込み可 (ただし電子辞書は不可)	<p>専門科目 (心理学の記述問題・用語解説。)</p> <p>下記の範囲から数問出題しますので、 そこから選択して回答していただきます。</p> <p>教育心理学    健康心理学 社会心理学    生理心理学 認知心理学    発達心理学 臨床心理学    犯罪心理学 心理学研究法   心理統計法</p> <p>※福山大学人間文化学部心理学科卒業 生(卒業見込みを含む)は、日本心理学諸 学会連合認定心理学検定1級または特1 級に合格している場合、専門科目の試験 が免除されます。該当する方は、出願時に 合格証の写しを同封してください。</p>	面接試験
社会人 特別選抜		小論文 (心理学と関連した内容を含む。)	面接試験

## 7. 合格発表及び入学手続

	合格発表	入学手続締切日
第一次	2024年9月9日(月)	2024年9月25日(水)
第二次	2025年2月10日(月)	2025年2月21日(金)
備 考	<p>※ 合格者のみ、学内掲示及び本人宛 に通知します。</p> <p>※ 電話による合否の照会には、応じ られません。</p>	<p>合格者は上記期日までに所定の納付 金を納入し、その他の手続きを完了 しなければなりません。所定の期日ま でに入学手続きをしない場合は、入 学を許可しません。※入学手続き時 に保証書の提出が必要となります。</p>



## 8. 注意事項

- (1) 受験者は試験当日には必ず受験票を持参してください。
- (2) 受験票を紛失した場合は、大学院人間科学研究科入試係（経済学部・人間文化学部事務室）に申し出て、指示を受けてください。
- (3) 一度受理した書類、検定料は理由の如何を問わず返却できません。ただし、諸納付金の納入後に入学を辞退する場合は2025年3月25日（火）までに申し出た場合に限り、入学金を除いた額（授業料・学友会費・後援会費）を返還します。

## 9. 諸納付金（参考・2024年度の内容）

費 目	納入時期		合 計
	入 学 時	後 期	
入 学 金	200,000 円	—	200,000 円
授 業 料	320,000 円	320,000 円	640,000 円
実 習 費	25,000 円	25,000 円	50,000 円
計	545,000 円	345,000 円	890,000 円

※ その他受託徴収金（学友会費、後援会費）15,000 円があります。

※ 内部進学者は入学金が免除になります。

※ 社会人として入学し、かつ出願時に願い出て、最大4年間の在籍が認められた方については、3年以上在籍した場合の3年目以降の授業料が、履修登録する科目の1単位につき20,000 円となります。

### ※留学生の場合

入学金 200,000 円（内部進学者は入学金が免除になります。）

授業料は日本人学生の80%（前期256,000 円 後期256,000 円）にあたります。

実習費は、前期25,000 円 後期25,000 円

その他受託徴収金（学友会費、後援会費）15,000 円があります。

ただし、大学が定める下記条件に満たない場合は、授業料の減免の対象とならないので、追加納入していただく必要があります。

授業料減免の条件

①「留学」の在留資格を保有又は取得見込みの私費外国人留学生

②仕送り額（入学金・授業料等を除く、本国からの仕送り額と在日扶養者の援助額の総額）の平均月額が9万円以下であること。

③扶養者の年収（在日扶養者及び本国の扶養者のそれぞれの年収）は500万円未満であること。

（注）入学後の後期納入金については、別途ご連絡いたします。

※ 諸納付金の納入は所定の期日を厳守してください。

## 10. 障害のある学生への支援について

障害のある学生の受験及び入学後に必要となる支援については、相談窓口「学務部教務課」にお問い合わせください。

## 11. 問い合わせ先

### 【入試に関すること】

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵  
福山大学大学院人間科学研究科 入試係（経済学部・人間文化学部事務室）  
TEL 084-936-2112（ダイヤルイン 2222、または 2223）

### 【障害のある学生への支援相談に関すること】

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵  
福山大学 学務部教務課 相談窓口  
TEL 084-936-2112（ダイヤルイン 2210、または 2213）

### 個人情報の取り扱いについて

本学では、出願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続き及びこれらに付随する業務のためにのみ利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

## 12. 大学院担当教員の指導内容

担当教員	研究キーワード	指導内容
赤澤 淳子	家族関係 暴力予防プログラム ジェンダー	生涯発達心理学及び家族心理学に関する研究論文作成のための指導を行う。 具体的には、まず各自の関心テーマに沿った国内外の文献を収集し、レビューし、研究の目的や方法を明らかにする。 次に、調査を実施し、統計処理を行った後に、その結果に基づき考察する。これらの過程を通して、修士論文の作成方法、プレゼンテーションの方法、及び分析方法について指導を行う。 また、学会発表や投稿論文の執筆についても指導・助言する。
安藤 孟梓	臨床心理学 認知行動療法 性的少数者 再発予防	医療領域で活用される臨床心理学に関する研究指導を行う。特に、認知行動療法や臨床応用行動分析に関わる諸理論の理解と実践を中心とした研究を扱う。 科学者実践家モデルの理念に基づいた医療者を目標とし、研究方法や解析方法等の指導と自身の研究活動を通して、理論的思考の獲得、Evidence-Based Medicine の理解を推進する。また、幅広い知見の獲得とアウトプットの観点から、国内外で開催される学会への参加および発表することを推奨し、論文執筆やプレゼンテーションの個別指導も行う。
枝廣 和憲	児童思春期青年心理学 「場（環境）」と相互作用 教育心理学 ユース・ワーク（青少年支援学）	実践に役立つ研究を目指す。具体的には、各自の関心に基づき、場（環境）との相互作用を意識したテーマ設定を行う。 テーマに関連する先行研究をレビューし、批判的思考と批判的態度を養う。自身の関心・興味を実現可能な研究テーマ・研究課題を設定する。研究テーマ・研究課題に合わせた研究手法及び研究計画等を決定する。研究倫理等についても確認する。研究手法及び研究計画等に基づいて、論文としてまとめる。また、修士論文に加えて、学会誌等の論文執筆などについても指導・助言する。
大杉 朱美	ポリグラフ検査 隠匿情報検査 プロファイリング 取調べ	実際の犯罪捜査に活かされる捜査心理学に関する研究の指導を行う。 自ら課題を見つけ、計画を立案し、実験あるいは調査を遂行する力を修得するために、文献レビューやゼミでの議論のみならず、研究室で実施する共同研究や国内外における学会等への参加も積極的に行うことを推奨する。実験方法、分析方法等の具体的な研究指導のほか、論文や申請書の作成方法、ポスターや口頭でのプレゼンテーション方法等についても、指導・助言を行う。

担当教員	研究キーワード	指導内容
金平 希	発達障害 情緒的相互作用	臨床発達心理学の視点から、修士論文作成のための指導を行う。 まず各自のテーマに関係した国内外の文献を収集し、レビューを行う。その中で、研究計画を立案し、調査、介入を実施する。そこから導き出されたデータについて、解析方法や論文執筆の方法について指導を行う。 また、修士論文に加えて、学会発表や紀要論文の指導も行う。
日下部 典子	ストレス ・マネジメント  ソーシャル ・サポート  認知行動療法	心理的なストレス、抑うつ、心身症などのメンタルヘルスの不調あるいは問題行動等のテーマについて、認知行動療法の観点からの研究指導を行う。 具体的には、国内外の文献レビューや実習を通して、学生が問題をみつけ、研究計画を立案、実施できる力を養う。また、研究成果を修士論文にまとめることに加えて、学会発表、紀要への論文執筆の指導もする。
反田 智之	認知心理学  注意  記憶  認知バイアス  応用心理学	注意や記憶を始めとした認知心理学分野の研究指導を行う。入学後は、修士論文の執筆に必要な基礎研究のみならず、企業や他大学の研究室と共同して、産業応用を目指した研究も行う。研究成果は、国内および国際学会において発表を行うほか、論文として執筆し、国際誌への掲載を目指す。研究関連業務の他にも、研究者としての生活全般を最大限サポートする。
寺田 和永	ブリーフセラピー  不登校の未然防止  ポジティブ心理学	ブリーフセラピーやポジティブ心理学の視座から、不登校などの学校臨床をテーマとした研究および臨床心理学分野に関する研究について指導をおこなう。文献のレビューやゼミ内での討論、研究計画を立案、調査や実験の実施、修士論文の執筆に際して、指導・助言をおこなう。研究成果は学会にて発表することを目指す。 臨床指導では、ブリーフセラピーの視座から助言・指導をおこなう。
中島 学	ウェルビーイング  ヒューリスティック  解釈学的循環  ナラティブモデル  更生支援	犯罪・非行からの離脱と、再犯せずに社会生活が継続し得る支援のあり方等に関して、質的研究・ナラティブモデルの観点から指導を行う。 研究指導は文献レビューやメディア等に取り上げられている当事者等の発言内容等から研究テーマを探ることから始める。研究テーマの設定にあたっては、ゼミ内での対話を重ねることを重視し、自らもナラティブ・対話モデルの実践を学ぶ機会とする。研究テーマに沿って、当事者や施設等への調査を実施し必要に応じて当事者等をゼミにお招きしてその体験等についてお話ししていただく機会も設ける。これらのステップを通して、最終的には、学会発表や学会誌等への投稿を目標として、研究論文執筆のための指導をそれぞれのペースに応じて実施する。

担当教員	研究キーワード	指導内容
中野 美奈	認知行動療法 対人関係療法 産業領域のうつ 企業のメンタルヘルス研修	心理臨床の技法に基づき、実習や演習の指導を行う。傾聴面接やアセスメント面接における共感や質問の技法など、実際の臨床場面に即した支援スキルの修得を目指す。また、産業領域におけるセルフケアやラインケアの模擬研修の指導・助言も行う。 臨床指導では、認知行動療法、マインドフルネス、対人関係療法などの指導・助言も行う。
平 伸二	虚偽検出 犯罪予防 犯罪被害者支援	科学捜査研究所勤務時代から続けている、事象関連電位による虚偽検出の研究を主に指導する。 その他、捜査支援、万引き防止、青色・白色複合 LED 防犯灯による犯罪抑止に関する研究、犯罪被害者等の支援に関する研究を指導する。また、広島県警と共同で子どもの安全、非行少年の立ち直り支援の実践についても指導を行う。
向井 智哉	刑罰・犯罪 厳罰傾向 差別・偏見 性犯罪 少年犯罪	社会心理学の観点から、修士論文の作成に向けた指導を実施する。各自が自主的に設定したテーマについて、国内外の文献を渉猟しレビューをまとめる。その結果に基づき、実施可能な計画を設定し、適切な方法論（調査・実験等）を用いて実証を行う。得られたデータに見合った分析手法を用いて分析・解釈し、修士論文としてまとめる。これらの一連のプロセスに指導を行うほか、希望者には国内外の学会における発表・論文投稿の支援も行う。
山崎 理央	臨床心理学 心理療法 カウンセリング	臨床心理学に関わる視点に基づいて、修士論文作成のための指導を行う。心理療法・カウンセリングにおける面接関係や面接のプロセス等、各自が関心を抱いている問題や対象を明確にし、自分が取り組みたいテーマに関する先行理論・研究を読み込み、研究計画を立てていく。テーマに関する理解や問題意識、研究計画、実施の結果や解釈について討論を重ね、指導・助言を行う。

### 13. 2024 年度授業科目一覧

科 目	授 業 科 目
コースワーク科目	保健医療分野に関する理論と支援の展開
	福祉分野に関する理論と支援の展開
	教育分野に関する理論と支援の展開
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開
	心理支援に関する理論と実践
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
	心の健康教育に関する理論と実践
	臨床発達心理学特論
	臨床社会心理学特論
	障害者(児)心理学総論
	認知行動療法特論
	心理臨床学総論Ⅰ
	心理臨床学総論Ⅱ
リサーチワーク科目	心理学研究法特論
	心理臨床学特別演習Ⅰ（課題設定）
	心理臨床学特別演習Ⅱ（課題展開）
キャリアワーク科目	心理的アセスメントに関する理論と実践
	心理実践実習（事前事後学習・基礎）
	心理実践実習（事前事後学習・発展）
	心理実践実習（学内学外実習・基礎）
	心理実践実習（学内学外実習・発展）